

危険物新聞

第 5 0 5 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集
発行人 松 村 光 惟

大阪市西区新町1丁目5-7

四つ橋ビル

TEL (531) 9 7 1 7・5 9 1 0

定価 1部 60円



平成 8 年の新春を迎えて

財大阪府危険物安全協会

理事長 鴻野 眞太郎

平成 8 年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は本会の事業運営につきまして、格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、年明け早々、阪神淡路大地震が発生し、未曾有の大被災をもたらし、続いて地下鉄サリン事件をはじめとするオウム真理教をめぐる一連の諸事件で、いらだちと社会不安が渦巻き、更に経済情勢は空前の円高、長引く不況等々、この様な悲惨な年はかつてなかったと思われま

す。大阪では幸いにして特記すべき災害、事件もなく、昨年 11 月にはエーペック (APEC) アジア太平洋経済協力閣僚会議が、18 の国と地域の参加のもと開催され、世界の人々の注目を集めた中、無事、成功裡に終了したことは誠に喜ばしい限りであります。

一方、日本経済も先行不安材料が多いようですが、大阪では、関西国際空港が開港して早や 1 年が経過し、多くの方々が世界各地から大阪へ、また、世界各地へ旅立っていくとともに、物流も盛んとなり、経済効果の活性化に向けて一役も二役も果たすものと期待されるところであります。

さて、産業革命をきっかけに、科学技術の発達はこの一〜二世紀の間に急速に進歩し、これに伴って、石油製品が灯火からはじまって、現在ではエネルギー源の主力として、また、化成品の主原料として、市場を拡大し、人類社会に浸透するようになりました。その結果、火災を発生しやすい物質、火災を拡大しやすい物質が氾濫し、今や世の中は物質文明の恩恵を十二分に享受している反面、多くの危険性が潜在しているなかで社会活動を行い、生活を営まざるを得ない側面をもってあります。

危険物を業とする者にとりましては、これらの危険物に因る事故を未然に防止し、無事故、無災害を目指し、積極的に事業に取組む使命と、責務があると考えております。

公益法人としての本会にありましては、危険物取扱者の

育成並びに保安教育を中心に、自主保安管理の啓発に取組み、常に時代に即応した効率ある諸事業を展開し、関係各位のご期待に添えるよう努力を続けて行きたいと、心を新たにしているところであります。

さて、旧年を振り返りますと、6 月に大阪府と共催のもと「危険物安全大会」を開催、続いて 10 月に本会主催の「年次大会」を行いました。両大会共ご来賓をはじめ、各関係機関より多数のご参加が得られ有意義なものとなりました。

保安講習につきましては、受講促進が定着し計画通りの実績が挙げられましたが、しかし予備講習につきましては、不景の煽りを受け、運営のあり方など全般的に見直しの必要性があると考えております。また安全研修会は、阪神・淡路大震災における被害状況と今後の地震対策をテーマに開催し、この震災により防災面に多くの課題と教訓が残されたことの指摘があり、大きな反響を呼びました。

その他各事業は計画通りに着実に実施することが出来、危険物、保安管理の一端を担えたものと確信しているところであります。このことは、ひとえに大阪府をはじめ各消防本部、そして各関係機関の温かいご理解とご協力によるものと、心から感謝を申し上げる次第であります。

21 世紀も目前に迫り、大阪では関西国際空港開港並びに APEC 開催により国際文化都市へと、より大きく変貌を遂げようとしております。その中で、災害のない街づくりには、社会的要請に相まって市民のニーズに的確に対応した危険物保安体制の確立にこそあり、今後は更に府下各消防機関のご指導を得ながら、各協会が一丸となって取組んで参りたいと考えております。

どうか、ご当局関係者には倍旧のご指導とご尽力を賜りますと共に会員の皆様にもより一層のご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のますますのご健勝とご隆盛を心より祈念し、年頭のご挨拶といたします。



年頭のごあいさつ

横山ノック

大阪府知事

(山田 勇)

新年明けましておめでとうございます。

今年の干支は子、十二支の一番最初であり、私にとりましても知事として初めての新年であります。この正月久しぶりに落ちついた時間を持つことができ、昨年1年間の反省と今年にかける抱負に思いをいたすことができました。本日は、この気持ちを中心にお話したいと思います。

まず最初は、昨年4月のことです。私は、多くの府民の皆様から温かいご支援をいただいて大阪府知事となり、24年間の国会議員の経験を自負していたにもかかわらず、初登壇では、知事としての重責に初々しい緊張と武者震いを感じたことであります。その後、関西国際空港全体構想の推進や信用組合問題など、様々な府政の課題に対応してまいりましたが、正直な実感は、知事の仕事が当初の予想よりもはるかに厳しいものであり、“ホンマに知事の仕事は激務や”と痛感させられたことでした。改めて、歴代知事のご苦労を実感するとともに、私も先輩方に負けぬよう大阪のために精一杯頑張っていくという決意を新たにしたところであります。

また昨年はAPEC大阪会議が成功裡に幕を閉じ、大阪・関西を内外に強くアピールすることができました。その陰には、府民の皆様方をはじめ、各方面から多くの方々のご支援・ご協力があったわけで、ここに改めて厚く御礼申し上げる次第であります。とりわけ、数多くの方々からボランティアやホームステイの申し出が相次ぎ、ホストシティとして大阪らしい心温まるもてなしができましたことは、“親しみとぬくもりのある庶民の街・大阪”をPRする点でも、大きな意義があったと喜んでおります。クリントン大統領の訪日中止は残念でしたが、各国の首脳・閣僚をお迎えし、地元としての役割を果たすことができ、大変嬉しく思っています。

APEC大阪会議の成功には関西国際空港の存在も大きな役割を果たしたところであります。今後、大阪が“世界都市・大阪”として新しい飛躍を遂げるためには、一旦も早い全体構想の実現が不可欠であります。このため、今後とも各方面との緊密な連携・協調を図りながら真の国際ハブ空港の完成を目指して、全力を傾けてまいり所存であります。

また、空港対岸の「りんくうタウン」では、空港の補完機能を担う諸施設の建設が急ピッチで進められており、この秋にはまちびらきを予定するまでになりました。とりわ

け、西日本一の高さを誇る「りんくうゲートタワービル(10月完成予定)」は、大阪の新しいランドマークとして、内外の方々に大いに親しまれるものと期待しています。

今日、地球の環境の保全や防災といった問題が、重要な課題となっています。大阪府では、環境基本条例を制定するなど、環境問題に対する積極的な取り組みを続けていますが、今年には時代の要請に適應した新しい環境総合計画を策定し、人と地球にやさしいまちづくりを進めてまいりたいと思います。また、昨年の阪神・淡路大震災では、多くの人命や財産が奪われ、あらためて大災害の恐ろしさを感じ知らされました。すべての人が安全で安心して住めるまちづくりは、行政の基本であり、最優先すべき課題であります。このため現在、大阪府地域防災計画の見直しを急いでいますが、最新技術を駆使した情報ネットワークの確保などにより、一刻を争う災害時に迅速に判断・行動できる体制づくりに力を注いでまいりたいと考えています。

昨年暮れに上海市との友好提携15周年記念式典に出席するため出張しましたが、中国には、「1年の計は田を耕し、10年の計は樹を植える。そして、100年の計は人を養うにあり」という古い言葉があります。本来この言葉は、人材養成の大切さを説いたものですが、私は、短期的な施策と中・長期的な施策を考える上でも、示唆に富んだ言葉だと思っています。今、大阪府は複雑化する行政ニーズや厳しい財政状況への対応など様々な緊急課題が山積しています。このため、府政全般にわたる自己改革に取り組むとともに、目前に迫る緊急かつ重要な課題に対し敢然と立ち向かってまいり所存であります。同時に、都市基盤整備や文化・経済の振興などなど、中・長期的な視点が求められる施策の推進についても積極的に取り組んでまいりたいと考えています。そのためには、府民の皆様や府議会をはじめ、各界のご理解とご協力が不可欠であります。

今後とも、府政の推進に際して、皆様方のご指導・ご鞭撻をいただきますよう、心からお願いする次第でございます。

最後になりましたが、本年が皆様方にとって明るい良い年であることを祈念いたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。

457-26-



新春を迎えて

大阪府下消防長会

会長 岡本 吉晃

平成 8 年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のおよろこびを申し上げます。

平素は、府下消防行政の各般にわたり深いご理解と暖かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、皆様方におかれましては、国内外の厳しい社会経済情勢にもかかわらず、安全操業のうちに事業の発展を遂げられましたものとお慶び申し上げます。

さて、今日の危険物を取り巻く諸状況は、科学技術の進歩、生活様式の変化に伴い、画一大量生産型から付加価値を求める多品種少量生産型へと移ることで、使用される危険物も多品種・多用途化され、その貯蔵・取扱いは、ますます複雑化しております。

また、生産設備の自動化、省力化の進展及び先端技術の導入等めまぐるしい社会環境の変化の中で、危険物災害はその発生要因、拡大経過、発生場所等、過去にはない新たな態様として、その潜在的危険性が増加している傾向にあります。

昨年の災害を顧みますと、1月17日の阪神・淡路大震災により5500名を超える方々が亡くなられ、4万5000人を超える人々が負傷されたほか、10万棟以上の住宅が損壊する等の被害が発生し、電気、ガス、道路等のライフラインも甚大な被害を受けました。

その中で危険物施設は、液状化等による屋外タンクの傾き、防油堤の亀裂、給油取扱所の計量機の転倒のほか、LPG貯蔵タンクでは、ガスの漏洩が発生し付近住民約8万人に避難、退去勧告が出されました。危険物施設での被害は、他の建築物等に比べますと比較的小規模なものにとどまりましたが、現在、耐震性能の見直しなど、より高度な震災対策の検討が進められているところであります。

一方、危険物災害につきましては、幸いにも、府下におきましては比較的平穏に推移しておりますが、全国的に見ますと、4月には明石市で廃液タンクが爆発し6名が負傷、5月には川崎市の石油精製工場において硫化水素ガスが漏洩し3名が死亡、44名が負傷するなどの災害が発生し、多くの尊い人命と財産が失われました。特に、点検、工事中の火気管理や保安体制など防災対策を推進していく上で多くの課題と教訓を提起されました。

このように、死傷者を伴った危険物施設での災害が後を絶たないことを考えますと、災害防止のためには施設や設備などハード面のみならず、従業員の管理や防災教育など

ソフト面の充実を図ることが重要です。特に、自己管理を原則とした自主保安体制の確立・整備が必要であり、私ども消防といたしましても最重要課題として取り組んでいるところでございます。

危険物行政におきましては、政府の規制緩和の方針を受けて、天然ガス充填所を給油取扱所に併設できる基準の整備、国際間で流通している中間容器コンテナ(IBC)を危険物の運搬容器として用いることができる基準の整備、内外殻とも強化プラスチック製(FF)2重殻タンクの基準の整備等が図られ、更にセルフサービス方式の給油取扱所の安全性など11項目について検討が進められています。

ところで、現在、大阪では大阪湾ベイエリアの開発をはじめ文化・芸術・スポーツ・レクリエーションなどの施設の一層の充実を図るなど、21世紀にむけ各種都市基盤整備が着々と推進されております。昨年11月には太平洋を取りまく18の国・地域的首脳、閣僚が参加してAPECが開催され、大阪発の情報が世界を駆けめぐり、安全を通じ世界都市大阪を海外に大いにアピールすることができました。APEC成功で西暦2000年のサミット、2008年の大阪オリンピックの実現に向かって大きく前進いたしました。

このような流れの中で快適で安全な街づくりは、何にもまして重要なことであります。私ども消防といたしましても市民の安全を確保し、うるおいとゆとりのある生活を守るため防災に万全を期す所存であります。皆様方におかれましても、地域社会の安全確保の重要性をご認識いただき、事業所の自主保安体制の、より一層の充実強化と災害防止にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

皆様方の事業のご隆盛と会員各位のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。

謹んで新年の
お慶びを申し上げます

平成 8 年 1 月

(財)大阪府危険物安全協会
理事長 鴻野 眞太郎
役員、職員一同



新年のごあいさつ

財団法人危険物安全協会

理事長 福島 深

平成8年の輝かしい新春を迎え、謹んで年頭のお慶びを申し上げます。

財団法人大阪府危険物安全協会会員の皆様方におかれましては、平素から危険物保安管理の重要性を深く認識され、危険物を取り扱う人々の育成と危険物に係る安全管理にご尽力をいただいているところであり、心から敬意を表する次第であります。

さて、昨年を振り返ってみますと、社会・経済の情勢を反映するかのような事件事故が頻発したことは、ご案内のとおりであります。

防災の任に就いておられる方々ばかりでなく、誰もが年頭にあたり願った「災害のない平穏な年」への期待も虚しく、年明け早々に発生した明石海峡を震源域とする戦後最大級の地震は、近代都市を直撃し、一瞬にして多くの生命財産を奪い去ってしまいました。

後に、阪神・淡路大震災と命名されたこの地震は、全国に警鐘を鳴らすとともに得難い教訓を示唆してくれたと前向きに考えなければ、不幸にして亡くなられた方への鎮魂とはなりません。

危険物に関する被害は、兵庫県ばかりでなく大阪府、京都府そして香川県にまで及びましたが、なかでも大阪府下においては、屋内貯蔵所をはじめ各種施設で80件を越す被害があり、会員の皆様のかなかにも損害を被ったかたがおられるのではないかと推察し、改めてお見舞い申し上げます。

地震による一次被害が甚大であった事実に加え、火災等

の二次的被害も多かった中であって、危険物に起因した災害の拡大が皆無に近かったことは、会員はじめ危険物の取扱いに携わっている方々が平素から消防法や関係法規を遵守し、保安管理に努めてこられた結果と拝察いたします。また、震後対策としての諸活動にも目を見張るものがあり、地域と密着している給油取扱所が、被災にもめげず、暖房用や消防車両等への燃料補給体制の確保をめざし事業主や保安監督者の方々が早期再開に向けて努力されたこと、また、専門技術者による緊急点検も早期に行い、安全確認に努められたことは、プロとしての使命感、責任感の発露であり、高く評価されるものであります。

危険物が平常時はもとより、非常時においても危険な物と化すことなく、その機能が発揮できるように一層努力を積み重ねられることを切に願います。

新しい年を迎えて、さらに危険物の保安管理についてそれぞれの立場で見直しを行い、より安全性を高めようことが、危険物災害を根絶やしにする上で肝要であると思料いたします。

当協会といたしましても、消防庁をはじめ関係諸機関のご指導、ご協力をいただきまして危険物の安全確保に関する事業を推進するため、役職員一同より一層努力する所存であります。

結びにあたり、財団法人大阪府危険物安全協会と会員の皆様様の益々のご発展とご健勝を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

迎春

大阪市危険物安全協会
豊能町防火協会
箕面市防火協会
池田市消防協会
豊中防火安全協会
島本町火災予防協会
高槻市火災予防協会
茨木市災害予防協会
吹田市危険物安全協会
摂津市防火安全協会

枚方市・寝屋川市
防火協会連絡協議会
交野市火災予防協会
四条畷市防火協会
守口・門真防火協会
大東市火災予防協会
東大阪市防火協会連絡協議会
八尾火災予防協会
柏・羽・藤火災予防協会
松原市火災予防協会
富田林市防火協会

河内長野市防火協会
美原町防火協会
大阪狭山市防火協会
堺市・高石市防災協会連合会
泉大津市火災予防協会
忠岡町防火協力会
岸和田市火災予防協会
貝塚市火災予防協会
泉佐野市火災予防協会
泉南市火災予防協会

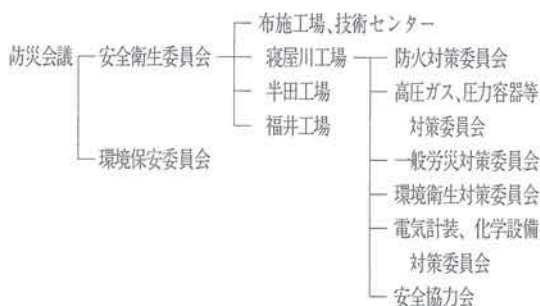
我が社の保安対策

信頼される工場、
信頼される部署、信頼される人

〈寝屋川市〉 大八化学工業(株)寝屋川工場

当社は大正八年に創業、社名の「大八化学」はそれに由来しています。大正末から昭和初期にかけて、アセチルセルロースの被覆電線用溶剤の酢酸エステルの製造を始め、昭和10年には電線用『可塑剤』のリン酸エステル系TCP、TPP及びフタル酸エステル系のDBPを初めて国産化しました。今日、化学用語として敢然に定着した『可塑剤』という言葉も当社が名付けたものであります。昭和20年代にいたると塩化ビニル業界の隆盛に伴って、可塑剤のパイオニア企業として各種の可塑剤を開発、現在その種類は数十種類に上り『可塑剤のデパート』とさえ呼ばれるようになりました。またリン酸エステルの機能を活用したプラスチック用難燃剤をも開発、現在ではそのトップメーカーに成長しました。これらの生産工場は東大阪市、寝屋川市、愛知県半田市、福井県の4工場です。当、寝屋川工場は昭和38年に操業した第2番目の工場です。操業当時は周辺は田畑でしたが現在では付近に住宅も建ち、一層防災、環境面の管理が重要になっています。

さて当社の防災組織は下記のようになっております。



防災会議では会社全体の防災方針が示され各工場においては各管理方針が年度ごとにしめされます。当工場は標題の信頼される工場、信頼される部署、信頼される人。が今年度の管理方針であります。これに添った実施方法がいくつか出され上記の六つの委員会が一月ごとに担当します。これらの委員会は化学工場に係わる全ての法規を包含しています。各委員会は年度の重点項目を掲げ担当月に実施し



大八化学工業(株)寝屋川工場の全景

てゆき委員会の開催と工場の巡視を行います。巡視の内容は主に委員会の専門分野の管理状態や防災面安全面を委員全員で見て回り、月一回開催される安全衛生委員会で指摘事項の報告をして次の委員会に申し送ります。次の委員会の巡視では前月の指摘事項が全て改善されていることを確認します。当工場では原則として指摘事項は一月以内に改善、処理することになっています。日頃の管理状態を年一回工場安全診断と称し他工場の委員会メンバーと防災会議のメンバーが安全設備管理、化学設備管理、圧力容器管理、電気計装設備管理、運搬物流設備管理、化学物質管理、防災管理、安全衛生管理組織、作業環境管理、保護具装置管理、安全教育、の12項目について現場で評価しそれを採点します。特に気づいた点は指摘事項として記載します。工場安全診断の特徴は他工場の人達の違った目で診断を受けることと、やはり工場間の対抗意識が自然とでます。また診断前には一段と工場美化に気を使います。常にこうで

LIFE LINE STATION

緊急用飲料水・電気・ガス供給機

防災ライフラインステーション

いざというとき

- 飲料水
- 電気
- 熱源

の確保ができます。

矢ヶ崎機工株式会社 ☎06-657-3791

あれば理想ですがこういったこともまた効果と考えています。

さてこういった活動の中の保安、防災関係を担当しています防火対策委員会を紹介致します。

○保安教育

委員会の方針は単なる知識の習得ではなく、より実践的で防災意識の高揚を計るため座学と実習を行っています。教育のテーマは

- ①保安監督者の任務について。
- ②危険物の取扱方法および消火方法について。
- ③防災設備の構造および機能について。
- ④消防計画、予防規程の周知。

全従業員を対象に年間スケジュールを組み実施しています。

○防災設備の自主点検

法定点検はもちろんのこと、各防災施設(自動火災報知機、消火設備等)自主点検は個人器機管理方式をとり担当機器を責任もって毎月1回実施しています。この狙いは管理状態が即個人の評価になるためいつもきれいな状態を維持しております。

○防火安全パトロール

防災設備の管理状況、消防法に基づく取り扱いや危険物の貯蔵等ならびに安全衛生に関する事項を消防署の立ち入り検査と同様の視野で行っています。

○防災訓練

一般従業員の防災訓練を指導するため防火対策委員会の下部組織に操法隊を設けております。この隊は職場から選抜された精鋭です。訓練は月2回、礼式や消防操法の基本を反復訓練しています。この操法隊が下記の予定訓練の指導にあたります。

- ①消火基本訓練。 年間4回
- ②防災訓練。(夜間想定訓練) 年間8回
- ③総合防災訓練。(全員参加の訓練) 年間2回

防災とはもちろん災害を防ぐことを意味しますが、万一の有事を想定した日頃の訓練等を通じ、特に若い人達に規律や団結力、士気が身に付き自然に防災意識が高揚していくように思います。

最後に各訓練の指導にあたっては、何度となく現地で指導頂きました枚方寝屋川消防組合の方々にはたいしまして本誌をお借りして厚く御礼申し上げる次第です。


空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する


GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)



株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467-8



HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573 大阪府枚方市稲穂田3-5 TEL.(0720)56-1281代
東京本社 〒105 東京都港区芝大門2丁目6-7 TEL. (03)3434-4841



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

頑固な夢が
そこにある。

原点はロスフリーベンションです。

保安講習予定表(2月期)

平成7年度の保安講習会は、下記の日程をもって終了します。平成8年度は8年6月下旬より実施の予定ですので受講期限のせまっている方は早い日に手続願います。

8年2月期 日程表

◇化学工場関係(1会場)			
回数	開催日時(予定)	会場	
60	2月14日(水)午後	大阪府商工会館	大阪市
◇その他・一般(6会場)			
回数	開催日時(予定)	会場	
56	2月6日(火)午後	大阪府商工会館	大阪市
57	2月7日(水)午後	堺市市民会館	堺市
58	2月8日(木)午後	茨木市商工会議所	茨木市
59	2月13日(火)午後	大阪府商工会館	大阪市
61	2月15日(木)午後	東大阪・弘容ビル	東大阪市
62	2月16日(金)午後	大阪府商工会館	大阪市

注1. 講義時間は3時間です。

(開講時間は講習会場によって若干異なります。)

注2. 会場欄中※印の会場は駐車可。(ただし、堺市民会館は有料。)

第4回 危険物取扱者試験

2月11日、府立大学で

財消防試験研究センター大阪府支部では、平成7年度第4回危険物取扱者試験を2月11日(日)に、大阪府立大学で下記のとおり実施する予定。


第4回危険物取扱者試験

試験日	2月11日(日) 乙種・4類(午前・午後) 甲種・4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	大阪府立大学(堺市)
願書受付日	1月18日、19日
願書受付場所	大阪府職員会館

予備講習受付は1月10日より

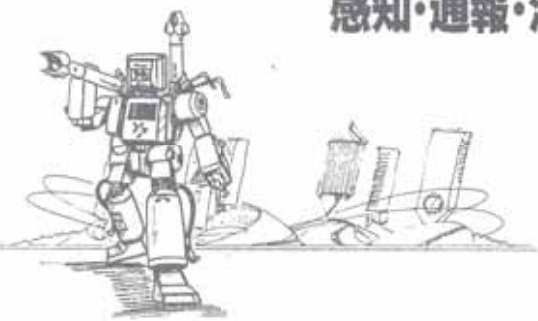
予備講習会は、甲種、乙種4類について大阪、堺、吹田など府下6会場で行われます。

申込み手続については、1月10日～18日までの間、各受付場所で行なわれる。(8頁参照)



AMATO ROTEL
ワイヤレス・システム

かみふる しらせる けす
感知・通報・消火
・さりりこ...



ヤマトスロテック株式会社
 本社 〒537 大阪市東成区深江2-1-10 TEL.(06)976-0701代 東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3445-7151代

普通消防ポンプ車

MX-1

消防そして救助。災害にも即応する資機材を搭載。

- MX-1専用キャブ、ハイルーフ&ワイドウィンド
- オートマチックトランスミッション
- フルパワーP.T.O.
- デジタル表示式集中コントロールパネル
- 動力式ホーススレーパー
- 吸管、各種放水器具、資機材をコンパクトに収納



MORITA

森田ポンプ株式会社

本社 / 〒544 大阪市生野区小阪東5丁目5番20号
 TEL.(06)756-0110 FAX.(06)754-3461
 東京・大阪・仙台・名古屋・福岡・岡山・松山

危険物取扱者予備講習のご案内

平成7年度第4回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験予備講習会を開催いたします。

今回は、丙種の講習は行いません。次の丙種の講習は6月期の予定です。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	1月22日(月)、1月25日(木)、2月2日(金)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
乙種	1期	1月23日(火)、1月24日(水)	大阪府商工会館
	2期	1月26日(金)、1月29日(月)	大阪府商工会館
	3期	1月29日(月)、1月30日(火)	堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	4期	2月1日(木)、2月2日(金)	吹田メイシアター (阪急千里線吹田駅ヨリ約5分)
日曜コース	1月21日(日)、1月28日(日)、2月4日(日)	10時～16時30分	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線本町駅ヨリ5分)

(注) 甲種と乙種日曜コースは3日間で、乙種は2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ①四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ②各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当ててしていますので、満席の節は受付できませんからご了承下さい。
- ③申込手続きは代理でも結構です。

受付場所		日時
東大阪市西消防署内 (近鉄・小坂駅より北へ6分)	東大阪市西防火協力会	1月10日(水) 午前10時～11時30分
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口消防署	1月10日(水) 午後1時30分～4時
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会	1月11日(木) 午前10時～11時30分
茨木市消防本部内 (JR・阪急・茨木駅より13分)	茨木市災害予防協会	1月11日(木) 午後1時30分～4時
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会	1月12日(金) 午前10時～11時30分
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会	1月12日(金) 午後1時30分～4時
吹田市消防本部内	吹田市危険物安全協会	1月16日(火) 午後1時30分～4時
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会	1月17日(水) 午前10時～午後4時
		1月18日(木) 午前10時～午後4時

(注) 12:00～12:45までは昼食休みとさせていただきます。

3. 日曜コースの申込方法

日曜コース(定員70名)は電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会費

(会費には、各テキスト代を含みます。)テキスト不要の場合は甲種、乙種2,000円減額。(テキストは平成7年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
甲種	16,000円	18,000円
乙種4類	11,000円	13,000円
乙種(日曜コース)	16,000円	18,000円